

第三期（2014年度）事業報告書

（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

法人の名称 特定非営利活動法人 アーモンド コミュニティ ネットワーク

1 事業の成果

多様な個性・文化・価値観を持つ人々で構成されたコミュニティの中で、人と人とを隔てる様々な問題に対して働きかけ、隔ての中垣を越えてところを支援し、健やかに共に生きるために「相手の話しをより良く聴くこと」「傾聴活動」を土台とした支援事業を行い、市民が孤立することのない共生の社会と平和なコミュニティの実現に寄与することを目的に活動を展開した。

2012 年 11 月に法人を設立し 2 年 4 ヶ月が経過した。平成 26 年度に法人の事業に参加した人は乳幼児から後期高齢者までの男女で、延べ 2,829 名だった。その内で北山田拠点「あ・る・く」で開催した 260 日間の各事業には延べ 2,379 名が参加した。「傾聴によるところの支援活動」を土台に、生きづらさの問題を抱える子ども・青少年・大人・高齢者とその家族に向けて、地域での伴走型支援事業をさらに発展させた。

今年度は、定款にある「人と人とを隔てる様々な問題に対する働きかけ」として、①「子ども、青少年の貧困の問題」②「外国につながる家庭の問題」③「障がいと成長の問題」④「不登校、ひきこもりの問題」への支援を重点的に展開し、乳幼児期、子ども期から青少年期までをつなぐ、切れ目のない伴走型支援の構築を目指した。また、定款にある「ところを支援し、健やかに共に生きるために『相手の話しをより良く聴くこと』『傾聴活動』を土台とした支援事業を行う」ために、⑤「『ACN 傾聴ワーカー』の活動」を推進した。

① 「子ども、青少年の貧困の問題」

- 1) 26 年 1 月から受託した横浜市全区事業の「都筑区寄り添い型学習等支援事業」（小中学生対象）は登録者数 33 名で参加延べ人数 1,058 名、その内生活保護世帯は 29 世帯で参加延べ人数 989 名であった。ひとり親世帯が多く、さらに親の身体や心の病気で生活支援が必要な子ども、日本語学習が遅れている外国につながる子ども、家庭内に自分の学習スペースのない子ども、発達障がいや知的障がいのある子ども、長期の不登校状態の子ども等が含まれ、複合的な課題を抱える子どもが参加していた。月曜日から金曜日の 13 時～20 時に開所し、「学習支援、居場所支援、相談支援、生活支援」を行なった。法人設立以前から、子育て・不登校・ひきこもり支援において相談支援と学習支援を継続実践してきた経験を生かし、傾聴を土台とする子どもと親へのサポートを職員と学習支援ボランティアで展開した。この春は、中三生の 11 名が全員高校へ進学し、また不登校だった中学生利用者 6 名全員が中学校に登校している。困難を抱える子どもたちが、地域に常設された、自分たちの参加を喜び迎え入れる安心できる居場所につながり、支援者の傾聴活動によって支えられ、在籍する学年に関係なく学科の基礎から学べる寄り添い型の学習支援を受け、共に生きる仲間と出逢うことで、おおらかに笑うことが増え、将来に対しても意欲的になった。諦めていた高校進学に向けて基礎からの積み重ね学習の再開、不登校から高校進学へ向けて面接やスピーチの練習等、学習支援者とともに真摯に取り組

んだ一年であった。子どもたちの事業への参加によって親たちの安堵感が増していくのが見られた。子どもが元気になることと母親の心身の回復や就労開始が共に進んでいったことは大きな喜びであった。

2) 自主事業「寄り添い型青少年支援事業『ともに あ・る・く』」

(旧「青少年への支援『わかものあ・る・く』」)

一般世帯の子ども・青少年の不登校・ひきこもり・就労の相談数と支援のニーズは年々増加している。また対象となる青少年の年齢は20代以上が増えていて問題の長期化も見られる。今年度は不登校、教育、発達障がいの問題に対し、問題を抱えるひとり一人をどのようにサポートしていくのかを親と相談しながら進めて来た。また、行政、小中学校、医療機関、療育センター、NPO法人等との連携をさらに進めた。

また、生活困窮家庭の16歳以上の青少年への支援を新たな重点項目として加えた。生活困窮世帯の高校学齢以上の青少年が無料で支援を利用できる方法を考え、26年度は都筑区社会福祉協議会（地域福祉保健計画推進事業助成）「つづき あい基金」に事業提案を行ない助成を受けた。この助成金で「都筑区寄り添い型学習等支援事業」の参加者の兄姉に対する支援を開始した。都筑区役所からの支援要請があった高校受検をすることなく家にひきこもっていた生活困窮世帯の青少年が参加し高校進学を果たすことができた。27年度も「都筑区寄り添い型学習等支援事業」の卒業生と、地域で未だ支援に繋がっていない青少年を対象として継続する。傾聴によってこころを支え、遅れがちな学習をサポートし、将来への希望を居場所での人間関係で支え、高校中退を予防し、その先の進学や就労に向けて、伴走型の自主事業をさらに展開していく。

3) 昨年度神奈川県知事の推薦を得て申請し助成を受けた「ニッセイ財団『広がれ、元気っこ活動』児童・青少年の健全育成助成」事業『KKBS 北山田こども放送局活動』を夏休みに実施した。法人事業に参加している小中学生・青少年と職員と青年学習支援ボランティアが、夏休みに地域のNPO法人を取材し動画による番組製作を行なった。また冬休みに法人会員（アート作家）の指導でコラージュによる動画作成ワークショップも実施した。パソコン機器やカメラ機器を手に取り、インターネットの仕組みを理解する体験学習として、コミュニティで多くの子ども・青少年が参加できる活動として、今後も『KKBS 北山田こども放送局活動』を展開して行く。

(KKBS: Kitayamata Kids Broadcasting Station)

4) 法人が学習支援の現場に取り入れているICT教育(e-learning)は、学習障がいの見られる成績不良の小中学生に新たな学び方を体験させ学習意欲や興味を持たせる効果がある。また、パソコンやネット環境が家庭になく、インターネットやネットワークの仕組みについての理解が遅れがちな生活困窮家庭に育つ青少年にとっては、進学や就労で今後必要となるスキルを体験する機会となる。さらに、こどもたちのインターネットやネットワークの仕組みについての理解(ネットリテラシー)を高める機会ともなる。法人が平成25年度よりNPO法人eboardの協力を得て、若手職員を中心に進めているICT教育(e-learning)の事業内容は、昨年末に朝日新聞本社社会部から「教育2014 格差を考える」のテーマで取材を受け紙面に大きく掲載された。法人が今後ICT教育をさらに発展させるためには、子どもたちが使えるパソコンやタブレットの増設等の多くの課題があるが、効果的な学習支援方法として今後も発展させていく必要がある。(NPO法人eboardは平成27年2月に総務省「先導的教育システム実証事業」の提供コンテンツとして採択された。)

5) 今年度の研修参加状況は、職員、ACN 傾聴ワーカー、学習支援者が、横浜市青年

相談センター、神奈川県立青少年センター、横浜市北部ユースプラザ、つづきMYプラザ等での青少年問題に関する研修やセミナーに積極的に参加し、青少年とその家族が抱える問題への理解を深めた。また全員が傾聴セミナーに参加して傾聴を学んだ。

② 「外国につながる家庭」の問題

「多文化家族の子育て支援」事業は、今年度は母親、父親、学生世代も参加する活動として発展した。自主映画「ハーフ - HAFU」上映会（都筑区社会福祉協議会 年末たすけあい募金助成事業）や、多文化多言語を生活環境とする法人理事等が講師となった「TCKsの子育てセミナー」等には、20代帰国子女の大学生から40代子育て世代がフェイスブックやホームページを通して東京都や神奈川県域から集まった。北山田法人拠点で開催する「多文化共生コミュニティ～TCKs Green House」の集まりには、ACN 傾聴ワーカーが参加しサポートしている。

③ 「障がいと成長の問題」

毎年開催している「障がいと傾聴セミナー」を、障がい当事者の会員とともに継続した。今年度は障がい当事者や福祉職員の参加が増えた。生きづらさをどのように受け容れ、将来に向かって生きる力を育むかは、すべての人にとっての課題である。生きづらさを抱えた人や障がい当事者から「聴く」ことを主軸に、「障がい」を個人の中にある問題ではなく、社会の中にあるすべての人の問題として今後も事業を展開して行く。また、2月に「平成26年度よこはま一人子育てフォーラム主催 障がい理解勉強会」に講師・進行役として招かれた。

④ 「不登校、ひきこもりの問題」

昨年度に引き続き横浜市こども青少年局青少年相談センター主催で、センターの相談者（親）を対象とした「傾聴セミナー」を2回教えた。6月に、つづきMYプラザとの共催事業「思春期セミナー」を開催した。9月には神奈川県立青少年センターとの共催で「ひきこもり地域理解促進事業」を開催した。これらの事業を通して、不登校やひきこもり問題で法人の相談事業につながる親や青少年が増え、また連携する専門機関から当法人を紹介されて訪れる相談者も増えている。

「寄り添い型青少年支援事業」と「ACN企画室‘ぶいぶい’」の参加者（10代～20代）のうち6名が、ひきこもり、ニート、不登校状態から脱して、大学進学、就労準備、ボランティア活動等で社会参加が出来るようになった。これらの青少年と親への相談支援は引き続き継続している。今後も問題を抱えた青少年の相談は増大することが予想される。

⑤ 「‘ACN 傾聴ワーカー’の活動」 ころを支え合い、健やかに共に生きるために。

会員による‘ACN 傾聴ワーカー’の働きも活発化した。傾聴を学んできた法人会員の有志が各事業に傾聴活動の担い手として参画して問題を抱える人々を支えている。

法人は地域社会で聴く力を持つ支援者を育成するミッションを掲げて、子育て中の親や住民ボランティアに傾聴を教え、地域住民同士が支え合い共に生きる関係作りと場作りを目指してきた。来年度はA. 傾聴の力を育成するプログラムと共に、B. 生きづらさの問題の背景を学ぶプログラムを準備し、A. B. を共に備えた‘ACN 傾聴ワーカー’の育成をさらに発展させていく。

毎年定期開催をしてきた「横浜に聴くツアー」、「アートワークショップ」の活動は、毎回参加の地域住民のリピーターも多く、コミュニティ活性化事業の働きを担った。

「横浜に聴くツアー」は、「横浜に聴くプロジェクト」と名称を改め、歴史ツアーに限らない教育・文化活動のコミュニティ活性化事業として展開していく。

「アートワークショップ」は、子ども・青少年から高齢者までが参加できるコミュニティ活性化事業として展開していく。

今年度は目標としていた情報発信の新たな取り組みが遅れてしまった。来年度は活動の重点項目の一つとして、スタッフの体制を整備して推進して行く。

北山田の山田富士公園の緑に面したエキニワビル1階の法人拠点あ・る・くでは、静かな明るい環境をさらに整備して、心地よい居場所作りとフリースペース事業の運営が継続できた。

個人会員・団体会員からの継続的な寄附と活動への支援と、ACN 傾聴ワーカーの働きと、連携する行政組織やNPO 法人等との協働によって大きく飛躍できた一年であった。

年度末の法人会員数は、正会員 19 名、賛助個人会員 77 名、賛助団体会員 3 団体であり、特に子どもの貧困の問題、障がいの問題、発達障がいの問題、ひきこもり問題への取り組みに対して、多くの方からのご賛助とご支援を頂いた。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 子育て支援の推進等に関する事業

‘子育てあ・る・く’「傾聴コミュニティカフェ活動」の中で親子と異世代の地域住民との交流をはかった。親が孤立することなく安心して子育てが出来るように傾聴活動で心を支えてきた。子どもの発達や障がいの問題、家族問題等を抱える若い親が参加した時には必要に応じて相談機関等を紹介した。また区の子育て支援拠点等から紹介を受けて参加した親もいた。

- ・日 時 火曜日と木曜日 10 時～12 時、通年 86 回開催した。
- ・場 所 NPO 法人拠点（都筑区北山田）
- ・従事者人員 5 人
- ・受益対象者 未就園児の親と子（マタニティを含む）
延べ 60 人
- ・支出額 406 円

② 青少年の健やかな成長の推進等に関する事業

ア 「寄り添い型青少年支援事業」‘ともにあ・る・く’フリースペース事業

傾聴によるこころの支援、居場所支援、学習支援、相談支援、就労支援等を行った。都筑区役所からの要請で高校受検をすることなく家にひきこもっていた生活保護世帯の青少年（17 歳）の支援を実施した。通年で参加し高校進学を果たすことができた。他に 16 歳～20 代の参加者が、落ち着いた環境で自分のペースを取り戻し、将来への再スタートを切ることができた。学び直しや不登校からの回復のために参加した青少年、学校中退後に大学進学や就労準備を再開した青少年達から、今年度は 6 名が新しい進路に繋がった。今後新しい環境や人間関係で再び行き詰まることを防ぐためにも、支援は継続し、親への相談支援も定期的に行なっている。課題となっている当事業の運営資金は、26 年度は都筑区社会福祉協議会「つづき あい基金」

に事業提案をして受託した。27年度は都筑区社会福祉協議会「つづき ふれあい助成金」を受託した。また学習支援には、NPO法人 eboard の協力で ICT 教育を導入し学習効果をあげている。

- ・日 時 通年 50 日間を開催した。
- ・場 所 NPO 法人拠点（都筑区北山田）
- ・従事者人員 4 人
- ・受益対象者 ひきこもり、ニート、中途退学、不登校問題を抱える 16 歳～20 歳代と、生活困窮家庭の青少年と、「都筑区寄り添い型学習等支援事業」の卒業生と、地域で未だ支援に繋がっていない高校学齢以上の青少年
延べ 172 人
- ・支出額 258,000 円

イ 横浜市委託事業「都筑区寄り添い型学習等支援事業『いっしょにあ・る・く』」

都筑区役所こども家庭支援課、自立支援課との協働事業、平成 26 年 1 月 6 日より開始。

北山田の法人拠点で、複合的課題を抱える世帯の小・中学生を対象に、傾聴によるこころの支援、学習支援、居場所支援、相談支援、生活支援、等を実施した。今年度は中三生全員（11 名）が高校進学を果たした。学習面の支援だけでなく、脆弱な養育環境にも配慮し、子どものこころを支えるために、居場所で受容的な人間関係を築くことを目指した。学齢に関わらず学習の基礎から学べる学習支援と、いつも笑いのある明るい居場所を作ることができた。また子どもたちは、一人ひとり悩みがある時に自ら相談コーナーに足を運び心理カウンセラー（法人理事長）に相談をしていた。また学習支援では、NPO 法人 eboard の協力で ICT 教育を導入し学習効果をあげている。

追記：複合的課題は中学を卒業し高校生になっても終わるわけではない。法人自主事業「寄り添い型青少年支援事業」‘ともに あ・る・く’ で、高校学齢以上となる卒業生を継続的に支えていくことは必然であるが運営資金が大きな課題である。

参考：複合的課題を抱えた世帯とは・・・不登校、生活保護、外国籍家庭、ひとり親（多くが母子家庭）、親のメンタルや身体の疾病、親の引きこもり、家族や兄弟姉妹の障がい等の問題が、複合的に重なり合っている世帯。

- ・日 時 月曜日～金曜日の 13 時～20 時、年間 238 日間、1659 時間を開催した。
- ・場 所 NPO 法人拠点（都筑区北山田）
- ・従事者人員 7 人
- ・受益対象者 複合的な課題を抱えた世帯の小・中学生（生活保護世帯を含む）と保護者
延べ 1,058 人（内生活保護世帯 989 人）
- ・支出額 9,000,000 円

ウ 「思春期問題、不登校問題からの道しるべ～MY Café」事業

子どもの不登校等の問題を抱えた親のために安心して話せる居場所を通年で毎月 2 回開催した。ACN 傾聴ワーカーが悩みを傾聴し、学校や専門機関の情報提供をした。必要に応じて親と子を対象とした心理カウンセラー（法人理事）による個別相談を実施した。

ACN 傾聴ワーカーとスタッフは、横浜市青年相談センター、横浜市ユースプラザ、神奈川県立青少年センターでの「青少年問題」研修に積極的に参加し、青少年問題への理解を深めることができた。

- ・日 時 通年 19 回（月 2 回）を開催した。
- ・場 所 NPO 法人拠点（都筑区北山田）、つづき MY プラザ（都筑区中川中央）
- ・従事者人員 5 人
- ・受益対象者 子どもの不登校、ひきこもり、思春期問題等をかかえる保護者と傾聴ワーカー
延べ 64 人
- ・支出額 16,237 円

エ 「『KKBS 北山田こども放送局活動』」

「ニッセイ財団 26 年度“広がれ、元気っこ活動”児童・青少年の健全育成助成」事業として、‘KKBS 北山田こども放送局活動’を開始した。

ニッセイ財団からの物品購入助成金 595,564 円を受け、活動のための機材を購入した。法人事業に参加している小中学生と青少年が地域で福祉事業を推進する NPO 法人代表者取材し動画による番組製作を行なった。また冬休みに法人会員（アート作家）の指導でコラージュによる動画作成ワークショップも実施した。地域社会でさまざまな職業の大人と出逢い、話しを傾聴する機会をつくり、子どもたちが将来に向けての自らの生活と仕事について考える体験活動を展開していく。傾聴を土台とする環境で、映像取材の事前準備を通して学び合い、協力して映像番組を作る作業は、青少年の共同体意識を高め、自己肯定感を高めていく。また、インターネットやネットワークの仕組みについての理解を深め、子どもたちのネットリテラシーを高める効果がある。

さらに法人の支援事業に参加している複合的な課題を抱える子ども、青少年にとっては、これらの活動を通して、さまざまな生活観や世界観や価値観と出逢い、自己肯定感や自己効力感を高め、自らの可能性の夢をふくらませ、将来の生活や仕事の可能性を拓けていくきっかけとなる。

- ・日 時 夏休み、冬休み、通年 5 回を開催した。
- ・場 所 NPO 法人拠点（都筑区北山田）、都筑区内の福祉活動 NPO 法人
- ・従事者人員 6 人
- ・受益対象者 地域の子ども・青少年と法人事業参加の子ども・青少年
延べ 165 人
- ・支出額 464,872 円

オ 「アート・ワークショップ」事業

ACN 会員のアーティスト（イタリア在住）の指導で、「不思議の国のアリス」のオリジナル本から着想を得た傾聴をテーマとしたアート作品の制作を行った。毎年参加のリピーターも多い事業に、Facebook やホームページを通しての新規参加者が加わった。地域の高齢者やひきこもりがちな青少年も参加できる場として、都筑区社会福祉協議会 年末たすけあい募金助成事業として実施してきた。今後もコミュニティ活性化事業として継続して行く。

- ・日 時 1 月に 2 日間を開催した。
- ・場 所 NPO 法人拠点（都筑区北山田）
- ・従事者人員 3 人
- ・受益対象者 子どもから青少年、成人、高齢者（10 代～70 代）
延べ 28 人
- ・支出額 44,000 円

③ 多文化共生の推進等に関する事業

「人と人とを隔てる様々な問題」（定款より）として、多文化多言語背景にある子どもと親のための「多文化家族の子育て支援事業」を運営している。日本のグローバル化による地域住民の抱える問題を、傾聴によるこころの支援、言語学習の支援、居場所での支援、相談支援等で行なっている。TCKs 問題を扱う心理カウンセラー（法人理事）による相談支援も実施している。12月の自主映画「ハーフ - HAFU」上映会は、都筑区社会福祉協議会 年末たすけあい募金助成事業として実施した。

また、「都筑区寄り添い型学習等支援事業『いっしょに あ・る・く』」の利用家庭の子どもの一割以上が外国籍であり、日本語学習の困難や自らのアイデンティティの問題等を抱える子どもたちの生きづらさの問題としても従来の福祉支援の枠を超えた横断的な支援が必要な領域である。

- ・ 日 時 通年 12 回（毎月 1 回）開催した。
- ・ 場 所 NPO 法人拠点、つづきMYプラザ、都筑区社会福祉協議会かけはし都筑
- ・ 従事者人員 5 人
- ・ 受益対象者 外国につながる親と子・国際結婚をしている親
延べ 55 人
- ・ 支出額 41,279 円

④ 障がい者支援の推進等に関する事業

「多様性、個性、障がいを支え育てるための傾聴セミナー」を「傾聴」を学んできた障がい当事者の法人会員と法人理事（両者ともに心理カウンセラー）で企画運営した。今年度は、民生委員などの地域住民に加えて、NPO 法人、障がい当事者と障がい者の家族、子育て支援拠点や障がい者施設の代表や職員の参加も多かった。

- ・ 日 時 10 月に 1 回開催した。
- ・ 場 所 都筑区社会福祉協議会かけはし都筑
- ・ 従事者人員 5 人
- ・ 受益対象者 障がいのある人とその家族、支援者、子育て中の親、地域住民
延べ 32 人
- ・ 支出額 0 円

⑤ 高齢者支援の推進等に関する事業

「傾聴コミュニティカフェ活動」

法人の拠点あ・る・くで実施している傾聴コミュニティカフェ活動は異世代の人たちが出逢い、交流をはかる目的で運営してきた。ACN 傾聴ワーカーが聴き手となって、今後も地域の高齢者が気軽に参加できる場づくりを行なっていきたい。

- ・ 日 時 火曜日と木曜日 10 時～12 時、通年 86 回を開催した。
- ・ 場 所 NPO 法人拠点（都筑区北山田）
- ・ 従事者人員 5 人
- ・ 受益対象者 地域住民（乳児から 70 代）
延べ 208 人
- ・ 支出額 19,149 円

⑥コミュニティ活動の推進等に関する事業

「横浜に聴くツアー」

法人の理事（米国人日本歴史学者）の案内で横浜の歴史から学んだ。日常的な環境をじっくりと視ながら、新しいことを発見し、住む環境を新しく味わって理解する。「傾聴」の手法をもって講義とツアーで構成した。また、参加者同士が相互に傾聴しあい理解を深めあうことで、自分たちの住むコミュニティへの意識が変わった。来年度からは教育と文化を扱う「横浜に聴くプロジェクト」としてテーマを拡げて展開していく。

- ・日 時 通年 6回開催した。
- ・場 所 横浜市内各所と NPO 法人拠点（横浜市中区、緑区、都筑区北山田）
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 横浜という地域コミュニティに興味のある地域住民（10代から70代）
延べ56人
- ・支出額(事業費) 0円

⑦上記の事業に関連する教育・学習・研修・啓発・相談に関する事業

「傾聴セミナー」 傾聴による支援活動の効果と意義を伝える目的のセミナー

- ・日 時 今年「こころを聴こう祭り」として開催した。
- ・場 所 横浜市都筑区内
- ・従事者人員 6人
- ・受益対象者 傾聴に興味のある法人会員と地域住民 20代から70代
- ・支出額 0円

⑧その他この法人の目的を達成するために必要な諸事業

ア 「こころを聴こう祭り」

法人設立時から毎年継続している事業。法人の歩みを伝え、現在の活動をひろく知らしめる目的と会員相互の交流をはかるための行事として開催してきた。ACN 傾聴ワーカー育成の目的で、「傾聴セミナー」を実施した。連携して活動している NPO 法人の代表や横浜市職員、横浜市民議員の参加もあり、充実した内容に今後も発展させて行きたい。

- ・日 時 11月に1回を開催した。
- ・場 所 都筑区社会福祉協議会かけはし都筑
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 傾聴に興味のある法人会員と地域住民 20代から70代
延べ26人
- ・支出額 16,672円

イ 「神奈川県立青少年センターとの協働事業「平成26年度ひきこもり地域理解促進事業」

昨年度に引き続き「つながることでひろがろう」のテーマで、生きづらさを抱えている青少年とその家族に向けたセミナーを開催した。ひきこもりやニート当事者とその家族が安心できる人間関係と活動を紹介し、参加できる居場所につながることを目的とした。参加者は傾聴の態度と方法をもって、抱えている問題を分かち合った。昨年と同じく法人と連携のある NPO 法人の代表者を招き、ひきこもり当事者であった青年たちも参加した。傾聴の場が作り出す環境

と集まった参加者の受容的な態度の成せる業であろうか、会場では自らのひきこもり体験を初めて人前で語ったという数名の参加者から聴く場ともなった。

青少年が社会体験や進学や就労に向かうヒントやきっかけ作りとなった。また地域で問題を抱える家庭と関わっている民生委員や主任児童委員も参加し、ひきこもり問題への理解が促進された。参加者には横浜市職員や横浜市議員も加わり、NPO と地域住民と行政関係者が共に青少年が抱えている生きづらさの実際の話しを傾聴しあう場を作ることが出来た。

法人の事業提案が、「青少年のひきこもりや不登校等の問題に対し広く県民への啓発や地域住民の理解促進につながり、青少年センターが協働して実施することにより、その成果を高めることができるもの」として認められ、神奈川県立青少年センターとの共催で開催した。

- ・日 時 9月に1回（午前・午後）を開催した。
- ・場 所 都筑区社会福祉協議会かけはし都筑、NPO 法人拠点（都筑区北山田）
- ・従事者人員 8人
- ・受益対象者 子どものひきこもり問題を抱える家族、ひきこもり経験のある青少年、支援者、民生委員、主任児童委員、近隣地域で活動している NPO 法人、福祉施設、精神障がい者施設の職員、行政職員、他
延べ 62 人
- ・支出額 9,000 円

ウ 「ACN 企画室ぶいぶい」

法人理事がファシリテータとなり 10 代から 30 代の青少年を対象にコミュニケーションワークショップを行なった。また青年たちが中心となってボードゲーム等のイベントを企画し開催した。「自分のことをありのままに話せる場」として、今後も運営を継続していく。支援を効果的に継続するために、ACN 傾聴ワーカーの参画がさらに求められる。

- ・日 時 土曜午後と平日夜、全 8 回
- ・場 所 NPO 法人拠点（都筑区北山田）
- ・従事者人員 3 人
- ・受益対象者 10 代後半～30 代の青少年と支援者
延べ 53 人
- ・支出額 1,159 円

<26 年度の受託事業、助成金・補助金事業の実績>

- ・ 都筑区寄り添い型学習等支援事業 いっしょにあ・る・く
横浜市都筑区役所より受託、子ども家庭支援課・自立支援課との協働事業
- ・ ACN 寄り添い型青少年支援 ともにあ・る・く
都筑区社会福祉協議会「つづき あい基金」（地域福祉保健計画推進事業助成として）
- ・ ‘KKBS 北山田こども放送局活動’
日本生命（ニッセイ）財団「26 年度“広がれ、元気っこ活動” 児童・青少年の健全育成助成」
「取材、撮影、動画作成、インターネット発信活動」
- ・ 平成 26 年度ひきこもり地域理解促進事業 つながることでひろがろう
神奈川県立青少年センターより受託、共催「傾聴セミナー」事業
- ・ 障がいと傾聴セミナー 都筑区社会福祉協議会 善意銀行助成事業
- ・ 自主映画「HAFU-ハーフ」上映会 都筑区社会福祉協議会 年末たすけあい募金助成事業
- ・ アートワークショップ 都筑区社会福祉協議会 年末たすけあい募金助成事業

<平成 26 年度の主な行事・行政との連携・研修講師、等>

- 4月 6日(日) TCKs Green House 親子ピクニック (山田富士公園さくら祭り/北山田駅)
4月 10日(木) 精神保健福祉サロン You&Me (中川地域ケアプラザ)
4月 12日(土) 横浜に聴くツアー (北山田拠点)
4月 19日(土) 理事会
4月 19日(土) アナログな時間 ボードゲームイベント
4月 21日(月) NPO 法人 eboard と ICT 教育についての会議 (北山田拠点)
4月 25日(金) 横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブにて講演 (かけはし都筑)
- 5月 8日(木) 精神保健福祉サロン You&Me (中川地域ケアプラザ)
5月 9日(金) 横浜市青少年相談センターが北山田拠点に来所、研修の打ち合わせ
5月 17日(土) 理事会
5月 19日(月) 横浜市子ども青少年局と健康福祉局が北山田拠点を視察
5月 23日(金) 北山田子ども放送局 KKBS ミーティング
5月 24日(土) アナログな時間 ボードゲームイベント
5月 29日(木) セントメリーズインターナショナルスクール J S S G 講座 (東京都世田谷区)
5月 29日(木) 青少年の居場所・地域活動拠点連絡会に出席 (横浜市青少年交流センター)
- 6月 7日(土) 理事会
6月 12日(木) 精神保健福祉サロン You&Me (中川地域ケアプラザ)
6月 14日(土) 第二期 法人通常総会
6月 14日(土) アナログな時間 ボードゲームイベント
6月 23日(月) 思春期セミナー 共催事業 (つづき MY プラザ、認定 NPO コロンブスアカデミー、認定 NPO アットホーム)
6月 24日(火) 横浜市青少年相談センター傾聴研修 講師 (横浜市青少年相談センター)
6月 25日(水) 北部地域若者支援連絡会に出席 (北部ユースプラザ)
6月 30日(月) NPO 法人 eboard と ICT 教育についての会議 (北山田拠点)
- 7月 8日(火) 北山田子ども放送局 KKBS ミーティング (北山田拠点)
7月 10日(木) 精神保健福祉サロン You&Me (中川地域ケアプラザ)
7月 18日(金) 平成 26 年度ニッセイ財団「児童・少年の健全育成助成」贈呈式
～北山田子ども放送局 KKBS 活動に対して～ (神奈川県立青少年センター)
7月 19日(土) 理事会
7月 21日(日) 北山田子ども放送局 KKBS 活動ミーティング (北山田拠点)
7月 24日(木) 韓国より大学生 20 名が法人を訪問 (北山田拠点)
- 8月 11日(月) 北山田子ども放送局 KKBS ミーティング (北山田拠点)
8月 15日(金) NPO 法人 eboard と ICT 教育についての会議 (北山田拠点)
8月 16日(土) 理事会
8月 18日(月) 北山田子ども放送局 KKBS 活動 子どもたちと取材&撮影 (仲町台いのちの木)
8月 29日(金) YOU&I コンサート実行委員会 (日本キリスト教団田園都筑教会)
- 9月 1日(月) 横浜市青少年相談センター傾聴研修 講師 (横浜市青少年相談センター)
9月 4日(木) NPO 法人 みんなの家が法人を訪問(北山田拠点)
9月 6日(土) 「ひきこもり地域理解促進事業」神奈川県立青少年センターと共催事業
(かけはし都筑と北山田拠点にて)

- 9月8日(月) 都筑区役所の大学生インターンが北山田拠点を訪問
 9月11日(木) 精神保健福祉サロン You&Me (中川地域ケアプラザ)
 9月13日(土) 「横浜に聴くツアー」(横浜市中区 馬車道)
 9月20日(土) 理事会
 9月24日(水) 青少年の居場所・地域活動拠点連絡会 (横浜市青少年交流センター)
- 10月4日(土) YOU&I コンサート開催 (都筑区公会堂) 実行委員
 10月9日(木) 精神保健福祉サロン You&Me (中川地域ケアプラザ)
 10月11日(土) 「横浜に聴くツアー」(横浜市中区 中華街)
 10月18日(土) 理事会
 10月19日(日) 福祉農園 社会福祉協議会主催 (都筑区東方町)
 10月25日(土) 第3回「障がいと傾聴」セミナー開催 (都筑区社会福祉協議会 かけはし都筑)
 10月29日(水) 北部地域若者支援連絡会出席 (横浜市北部ユースプラザ)
 10月29日(水) 朝日新聞社本社社会部の取材 2014 格差を考える「ICT 教育」(北山田拠点)
- 11月5日(水) 横浜市寄り添い型学習等支援事例検討会 港北区 (慶応大学)
 11月6日(木) 横浜市青少年相談センター若者支援スキルアップ研修に参加 (同センター)
 11月8日(土) 「横浜に聴くツアー」(横浜市緑区中山)
 11月13日(木) 精神保健福祉サロン You&Me (中川地域ケアプラザ)
 11月15日(土) 法人事業「第4回こころを聴こう祭り」(かけはし都筑)
 11月26日(水) 「思春期の子育て傾聴講座」講師 中川西中学校 PTA 主催 (中川西中学校)
- 12月6日(土) 都筑区社会福祉大会 (都筑公会堂)
 12月9日(火) 横浜市青少年相談センター若者支援スキルアップ研修に参加 (同センター)
 12月10日(水) 横浜市教育委員会北部学校教育事務所が法人を視察 (北山田拠点)
 12月11日(木) 精神保健福祉サロン You&Me (中川地域ケアプラザ)
 12月13日(土) 「横浜に聴くツアー」(横浜市中区 野毛、伊勢佐木町)
 12月22日(月) 「一万人の子育てフォーラム」障がい理解講座の会議 (北山田拠点)
 12月23日(火) 自主映画「ハーフ - HAFU」上映会 TCKs Green House 主催 (つづき MY プラザ)
- 1月8日(土) 精神保健福祉サロン You&Me (中川地域ケアプラザ)
 1月10日(土) 「横浜に聴くツアー」見学 (都筑区センター北 横浜市歴史博物館)
 1月11日(土) 第3回 ACN アートワークショップ (北山田拠点)
 1月12日(日) 第3回 ACN アートワークショップ (北山田拠点)
 1月23日(金) 横浜市青少年相談センター若者支援スキルアップ研修に参加 (同センター)
 1月29日(木) 横浜市青少年相談センター若者支援スキルアップ研修に参加 (同センター)
 1月29日(木) 「気になる子のサロン」講師 (横浜市緑区子育て支援拠点いっぽ)
 1月31日(木) 理事会
- 2月9日(月) 1万人子育てフォーラム主催 障がい理解講座講師 (横浜市社会福祉協議会)
 2月14日(土) 「横浜に聴くツアー」講義と振り返り (北山田拠点)
 2月22日(土) 都筑区役所と北部地域若者支援連絡会第1回研修会で活動説明 (都筑区役所)
 「都筑区青少年指導員との研修&意見交換会」
 2月25日(木) 北部地域若者支援連絡会(北部ユースプラザにて)
- 3月12日(木) 精神保健福祉サロン You&Me (中川地域ケアプラザ)
 3月21日(土) 理事会

以上。